

だ御入會願つてゐない諸氏50名に發送せられた。何れ幹事が改めて御願ひに參上する筈であるが、この會の主旨に賛同して戴きこの若き京都の同好者團體をより強固にするため進んでこの團體に加はつて戴くやう望む處である。尙これと平行して協會本部、地方委員間に京都支部の今後に就ての研究打合せがなされつゝある。

會員狀況 4月末京星會關係人員 顧問3氏 顧問に準ずる方5氏 賛助員2氏會員(京都市内居住)42名 賛同員(地方居住)14名 合計66名 準會員45名

日 食 特 輯 後 記

★茲に本協會創まつて以來の大奉仕、**「日食特輯號」**を計畫して、會員諸氏へ御送りする。御覽の通りの出來榮えである。兎に角、我々の時代につては今世紀唯一の皆既日食を迎へたのである。かくの如き大計畫、大奉仕は先づ前にも後にもないものと御想像願ひたい。

★今度は天文臺員總出動、從つて、本誌の編輯係も觀測班を組織してゐる結果少人で實に筆舌に盡されぬ努力を傾注して、資料の蒐集と編輯作製に當つた。然かも極短時日の間にである、一方には印刷所の特別の盡力もある事には茲で謝意を表したい。

★各々觀測班は、日本全國の、否世界全國の感激と期待とを負つて、勇ましく出發して行つた。正しく空前の計畫である。一方、本會々員中の有志の方々も夫々の希望と又となきチャンスを狙つて何れも北海道へ!!、北海道へ!!

★内地に滞在される方々も、必ずや大小望遠鏡の放列を敷いてその日や遅しと待ち構へてゐられる事だらう。部分食觀測でも、立派な價值を持つてゐる。願くば夫々の結果を見せて頂かう。聽かせて頂かう。本誌8月號は日食報告號として特輯される豫定である。

★本年は天文の當り年で、日食ばかりに氣を取られてゐると大變!!天空の伊達者**「土星」**がああ美しいスカートを翻へす、——實に15年ぶりの見物!!日食とは異なつた嚴肅な態度で、微妙な瞬間を見守つて頂きたい、之れには遊星面課の方々の活躍が期待される。

★こんどの日食を機會に、東亞天文協會の存在が、大いに意義附けられた。その効果の数々が追々本誌に發表されて行く事だらう。

日章旗を高く掲げた觀測隊が、重大な責を負つて、全國民注視の中に、或は遠く故國を離れて、シベリヤの奥地へ、滿洲の邊境へ、又邦土の北端へ遠征して行つた。唯々各員の健康と大成功を祈るのみ!! —(葵星)—